



The Japan Amateur Radio League, Inc

# 秋田県支部報

# 2023 年度版

2023 年 9 月 8 日制作

# 一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 秋田県支部報

## ご挨拶

支部長 渡邊 和弘



JARL 秋田支部会員各位、県支部役員、登録クラブ員各位には日頃より県支部活動にご支援ご協力を頂き有り難うございます。

7月の大雨災害で被害に遭われた皆様お見舞い申し上げます。1日も早く普段の生活に戻られることをご祈念いたします。

3年間、新型コロナウイルスの影響でいろいろな社会活動が制限されておりましたが、ようやく感染の縛りから解放され事業計画に基づき事業をスタートしております。

6月には恒例のハムの集いが高尾会長(社員総会前)、尾形東北本部長をお迎えし雄和サイクリングターミナルで70余名の参加を頂き開催されました。当日は、第61次南極地域観測隊のJH7JCX氏家宏之氏を講師にお迎えし、「南極観測と8J1RLの運用」について講演をいただきました。参加者は普段は聴くことのできない内容で南極観測について聴き入っておりました。

この他の事業といたしましては、9月3日の災害対策委員会による災害ロールコールの実施、9月9日から10日にはオール秋田コンテストが開催されます。

どちらも秋田県支部主催事業で多くの皆さんに参加をお願いするものです。

制度改正によりアマチュア無線の有資格者が開設するアマチュア局を使用して、アマチュア無線有資格者の監督の下でアマチュア無線の体験が出来るようになりました。県支部としても10月に小中学生アマチュア無線体験会を予定しております。

また、アマチュア無線従事者資格の国家試験や養成課程修了から、アマチュア無線局の開設・運用までの期間が短縮できるように、「アマチュア無線従事者免許」と「アマチュア無線局免許」を同時に申請出来るようになりました。

また、10月22日には「2023全日本ARDF競技大会」が宮城県で開催されます。秋田県支部としてもARDF委員会を中心に運営などに支援しております。ARDF競技は全国的にも秋田県のお家芸といっても過言でないほどの競技になっております。特に、秋田県高校文化連盟は毎年ARDF競技会などを開催しており、すばらしい成績を残しており、本大会においても上位入賞を期待しております。

これに併せて特別記念局8J7ARDFが運用されており、秋田県内でも9月1日から15日まで各地からQRVされます。この機会に是非交信してQSLカードをゲットしては如何でしょうか。

最後になりますが、第12回社員総会前日に突然高尾会長が辞任届けを提出、午前中に理事会で高尾会長を解職、理事は解任されました。新会長にJASUD森田氏、副会長にJA8ATGが選出されました。今後は新体制で運営されることになりました。

森田新会長には、就任の御祝いを申し上げると共に会員が納得できるような透明性のある連盟運営をお願いするものです。

# JARL 秋田県支部 ハムの集い

広報 石川 JH7KTI

令和5年6月11日 秋田市雄和椿川・秋田市雄和サイクリングターミナルに於いて開催いたしました。  
今年のハムの集いには、ご来賓として本部よりJARL会長 高尾 義則 様 JG1KTC (なお、第12回定時社員総会前日に辞任)、仙台より氏家 宏之 様 JH7JCXをお迎えした。

司会者 佐藤 悦紹 JA7KKV司会で会を開始した。

初めに、秋田県支部長 渡辺 和弘 JA7SOKの挨拶

3年振りに開催する事が出来て大変うれしい。コロナ禍で普段の生活に制限が掛けられて心も体も委縮していく中、ハムは制限なく話す事が出来る一つのコミュニケーションツールであるが、空の上だけではなく直に面と向かって話す事によっていっそう楽しくなると思っているのです、ハムの集いもそんな1つの催しになればと思っています。

来賓のJARL会長 高尾義則 様よりご挨拶を頂戴しました。

JARLとして会員はもとよりアマチュア無線全体が盛り上がるようにご尽力された。若い世代に、アマチュア無線を知ってもらい興味を持ってもらう為に、当該無線局長の指導監視の下免許を持たない方の試験運用が出来るようになった。

開局申請までの時間短縮等々関係機関との連携で実現した。(詳細は、総通・JARLホームページ・JARL NEWS・CQ誌をご覧ください。)

引き続き、氏家 宏之 様より南極昭和基地 8J1RLについての講演をして頂きました。

南極道中船の旅 昭和基地の全体の配置 仕事や生活の楽しみや苦労話。

無線のプロ免許をお持ちであれば通信班として誰でも応募できる。(どなたかチャレンジしてみても)

8J1RLのアンテナは、越冬隊員の希望のメーカーに発注出来るらしい。

ブリザードの威力はすさまじく、アマチュアのアンテナが折れ曲がりエレメントが飛んで無くなっていたりと隊員の設備維持には、我々想像以上のご苦労があつての交信が出来ている。頭が下がる思いだ。

18Mhzより上のハイバンドのコンディションも大分良くなってきていますので南極との交信のチャンスが増えています。FT8,CW,SSBと聞いてみて下さい。

この度の秋田県を襲った大雨災害による被害に見舞われた方々に、お見舞い申し上げます。

暑さの厳しい季節ですので水分補給、休憩、睡眠を十分に取って一日も早く日常生活に戻れますようお願い申し上げます。



## 秋田県支部 アワード

アワード担当幹事 JF7UIW 松橋 密

22021年4月から2023年3月までのワード受領者の皆さんです。

No. 83 JH7WFF No. 84 JQ6FQI No. 85 JA1RYC No. 86 JI1AFG

No. 87 JH7WFF No. 88 JA8DYM No. 89 JH3CGR No. 90 JI7VKX

No. 91 JAOIOF

秋田県全市町村賞 達成 おめでとうございます 支部役員一同お祝い申し上げます。

支部会員の皆様はもう秋田県全市町村賞は獲得済みですか？ おかげさまで 発行ナンバーも90番台となり、まもなく3桁になります 2桁をご希望の方はお急ぎください。

今後もこのアワードが息の長いものになるためには 第一に県内各局のオンエアー、特に県内各地への移動運用 そして確実なカードの発行にあると思います。 とにかくにも皆様のご協力なしでは尻つぼみは目に見えております。コロナ政策も緩和され 野外へのお出かけも気軽になりました。リグとログをもって 出かけてみませんか。

## 秋田県支部 ARDF 委員会

委員長 JF7UIW 松橋 密

支部会員の皆様には日頃より ARDF 競技にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。 ここ数年 コロナの関係でほとんどの大会や活動が規制され、何もできない状況が続きました 本年度に入りようやく規制が取り払われ コロナ前の状態に戻りつつあります 高文連からは 大会運営のお手伝いの要請が有り 春から数人ではありますが 参加しております。 本年度の支部 ARDF 大会は諸事情により中止とさせていただきました。

コロナの間に多くの委員会のメンバーがそれぞれの事情で 辞退されております。これからは若い人の補充も考えていかなければと思っています。

本年度の全国大会は宮城での開催がいよいよ決定されました。宮城では大会の経験がなく、東北各県の審判経験者の協力が不可欠なのは皆さんもご理解頂けるとおもいます。応援依頼があった時は 出来るだけ協力したいと思いますので、皆さん宜しくお願いします。(開催日は10月22日の予定 皆さんの予定帳にも・・・)

### 委員会 メンバー

副委員長 JA7JPK 齊藤邦弘 委員 JR7FEH 菊池幸彦 委員 JL7MJG 渡邊義典 委員 JN7AEL 藤原浩樹  
委員 JO7MCV 藤島康一 委員 JO7FBS 佐藤洋介

長きに渡り副委員長として助けていただいた JE7REC 三浦さん、同じく長い間ご夫婦で支えていただいた JI7JGO JI7OVN 伊藤さんご夫妻、JF7KPF 佐藤 稔さん JO7JTL 太田 研さん がそれぞれの事情により今回委員会より退会されました。

各局には大変お世話になりました。本当に有難うございました。

# 災害対策委員会

災害対策幹事 武埜 JH7QFP

新型コロナウイルスは5類に位置付けられ、人の流れも活発になりつつありますが、感染者数は減少した訳ではありませんので、引き続き、マスクなどの対応が必要です。皆さん、用心して取り組みましょう。

さて、JARLでは、平成7年の阪神淡路大震災を契機に非常通信による支援体制の見直しを行い、非常通信に関する基本方針・非常通信実施要領等を制定しました。これに基づき平成8年に災害対策委員会が発足し、はや27年目となります。携帯電話のサービスエリアも、だいぶ広がりましたし、ラインやツイッターなどのアプリも普及しましたが、災害の大きさによってはこれらが全滅することは容易に想像できますので、アマチュア無線の有用性はいまだ揺るぎないものと思っております。

これまでの活動を振り返りますと、手始めに取り組んだのが秋田県との災害時応援協定締結でしたが趣旨は理解してもらえたものの調印には至りませんでした。当時は「災害時ネットワークの構築を急ぐべきだ」というご意見も頂戴しましたが、その後の震災等の状況を踏まえると、「協定があったら何かうまくいったはず」と思えるケースはほとんど無いように思っています。一番大事だと感じたのは、どんな立派な書き物よりも、いざというときに自主的に動いてくれるボランティア個人局がいて、すぐに運用可能な設備がそこにあるということです。

JARL制定の「非常通信支援体制」では、大規模災害発生時に必要な機材などを調達したうえで、RL局またはYRL局を頂点とし、サブ基地局などの下にボランティア個人局が配置されます。このボランティア個人局が活動の主役になる訳ですが、ボランティア個人局による初動体制の確立のためには何が必要でしょうか？

まずは、いざというとき電波を出せる健全な設備が必要です。免許申請を含め日頃の無線局の健全性維持は無線従事者の義務です。局免の失効はもつてのほかですが、電波法上は本来、電波の出せない設備に免許は下りないことを認識しましょう。無線機が故障したまま・アンテナのSWRが高いまま等、不具合のある方は、ローカル局に相談するなど、整備しましょう。

次に、電波を出す機会を増やすことが必要です。普段運用していないと設備の健全性も確認できませんし、リグの設定にも慣れておく必要があります。2mや430も最近では静かですが、メインでCQが聞こえた時には、ぜひお声掛けしたいものです。

今年の秋田県総合防災訓練の開催主体は、新型コロナの影響でしょうか、以前と異なり県生活環境部総合防災課から各開催自治体の市役所に移っております。

各自治体の取り組み状況によりアマチュア局への声掛けの有無が決まりますが、今年の開催地である大仙市の場合は、残念ながらお声掛けは無いとのことで、以前のように事前の打ち合わせ会への案内を頂戴できるよう、いかに自治体へアプローチしていくかが大きな課題と感じております。

災害対策委員会の活動として、非常災害ロールコールだけは、今年も開催を継続していきます。さらに2023年度は、初の試みとして「ためきワッチ部門」を設け、非常災害ロールコール参加者のレポートをメールでお送りいただき、抽選でクオカードをお贈りすることとしています。参加要領はJARL秋田のホームページに掲載しましたが、オンエアがなかなかできない方や、局免切れの方も含めた参加を期待しております。

最後に、JARL会員増強活動等の効果により、令和2年度以降JARL会員数が27年ぶりに増加に転じたという明るいニュースもありました。私たち自身が楽しんでいるところを見せてあげることによって、ニューカマーの方々も末永く楽しめることに繋がっていくと思います。進んでCQを出し、アクティブに楽しみましょう。

## 令和4年度JARL秋田県支部活動報告

年	月	日	行 事	備 考
4	5	中旬	秋田県支部報発行	諸般の事情により発行中止
	5	14	第25回高校ARDF春季大会	(支部支援事業)秋田県立中央公園(秋田市)4校参加
	5	15	役員・委員・クラブ代表者・監査指導委員合同会議	コロナ禍により7月に延期
	6	1~12	「電波の日」記念運用	コロナ禍の影響により登録クラブの運用実績なし
	6	4	第25回秋田県高校ARDF大会	(支部支援事業)秋田県立中央公園(秋田市)5校参加
	6	12	ハムの集い	コロナ禍により延期→中止
	7	3	役員・委員・クラブ代表者・監査指導委員合同会議	秋田市雄和サイクリングターミナル
	8	8	第25回秋田県高校ARDF夏季大会	(こまち杯ARDF大会)中止
	8	28	秋田県総合防災訓練	(秋田市) コロナ禍により不参加
	8	28	災害ロールコール	18局参加
	9	10~11	第36回オール秋田コンテスト	県内32局49エントリー、県外213局242エントリー計245局291エントリー
	9	11	JARL秋田県支部ARDF大会	中止
	9	11	第25回秋田県高校ARDF夏季大会	(支部支援事業)風の松原、能代公園(能代市)3校参加
	10	8	第25回秋田県高校3.5メガARDF大会	(支部支援事業)秋田県立中央公園(秋田市)3校参加
	10		小中学生アマチュア無線体験教室	中止
	11	3	コンテスト委員会開催	第36回オール秋田コンテストの審査など
	12	4	役員・委員・クラブ代表者・監査指導委員合同会議	コロナ禍により2月に延期
5	1	2	第32回VUオール秋田QSOパーティー	27通提出(別紙)
	2	12	役員・委員・クラブ代表者・監査指導委員合同会議	雄和市民サービスセンター(秋田市)
	3	5	役員・委員・クラブ代表者・監査指導委員合同会議	北部市民サービスセンター(秋田市)
	随 時		秋田全市町村賞受付発行	
	適 宜		ガイダンス局の運用	
	検 討 中		初心者向けQSO講習	
	随 時		会員増強活動	令和4年秋田県支部若返り計画実施 6/1~2/28

## 令和4年度JARL秋田県支部収支報告書

(単位：円)

科 目		当期予算額	第4/四半期額	累計額	備考
前期繰越高		0	280,292	199,717	
収 入	支 部 費	120,000	0	120,000	
	賞 典 収 入	0	500	500	
	雑 収 入	0	0	4,000	
	受 取 利 息	0	1	2	
小 計		120,000	501	124,502	
支 出	会 議 費	35,000	18,891	22,301	
	催 物 費	125,000	10,568	28,708	
	渉 外 費	0	0	0	
	通 信 費	15,000	10,090	12,140	
	交 通 費	0	0	0	
	消 耗 品 費	2,000	1,971	1,971	
	事 務 印 刷 費	20,000	13,063	19,731	
	コ ン テ ス ト 費	47,000	49,016	51,224	
	賞 典 費	1,000	140	140	
	非 常 通 信 費	20,000	0	10,950	
雑 費	0	0	0		
小 計		265,000	103,739	147,165	
次期繰越高			177,054	177,054	

## 令和5年度JARL秋田県支部活動計画

年	月	日	行 事	備 考
5	5	13	第26回秋田県高校 ARDF 春季大会	高文連の行事（支部支援事業） 秋田県立中央公園 秋田市
	5	14	役員・委員・クラブ代表者・監査指導委員合同会議	
	6	1~11	「電波の日」記念運用	登録クラブの運用予定 JA7YRL 局を運用
	6	11	ハムの集い	
	6	3	第26回秋田県高校 ARDF 大会	高文連の行事（支部支援事業） 秋田県立中央公園 秋田市
	8	6	2023 秋田県高校 ARDF 夏季大会（こまち杯）	高文連の行事（支部支援事業） 仙北郡千畑
	9	3	秋田県総合防災訓練	
	9	3	災害ロールコール	
	9		秋田県支部報発行	
	9	9~10	第37回オール秋田コンテスト	
	9		JARL 秋田県支部 ARDF 大会	日程は ARDF 委員会で調整
	9	9	第26回秋田県高校 ARDF 秋季大会	高文連の行事（支部支援事業） 風の松原、能代公園 能代市
	10	7	第26回秋田県高校 3.5メガ ARDF 大会	高文連の行事（支部支援事業） 秋田県立中央公園 秋田市
	10	22	2023 全日本 ARDF 競技大会	宮城県内
	10		小中学生アマチュア無線体験会	県内小中学生
	11		コンテスト委員会開催	日程はコンテスト委員会で調整
	12	3	役員・委員会・監査指導委員会合同会議	
6	1	2	第33回VUオール秋田QSOパーティー	
	3	3	役員・委員・クラブ代表者会議	
	随	時	秋田全市町村賞受付発行	
	適	宜	ガイダンス局の運用	
	検	中	初心者向けQSO講習	
	随	時	会員増強活動	令和5年秋田県支部若返り計画実施 5/1~2/28

## 令和5年度JARL秋田県支部収支予算

（単位：円）

科 目		令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減額	備考
前期繰越高		176,000			
収入	地方本部費	150,000	120,000	△ 30,000	
	賞典収入	0	0	0	
	寄付金収入	0	0	0	
	受取利息	0	0	0	
	雑収入	0	0	0	
小 計		326,000	120,000	△ 206,000	
支出	会議費	40,000	35,000	△ 5,000	
	催物費	181,000	125,000	△ 56,000	
	渉外費	0	0	0	
	通信費	15,000	15,000	0	
	交通費	0	0	0	
	消耗品費	2,000	2,000	0	
	事務印刷費	20,000	20,000	0	
	コンテスト費	47,000	47,000	0	
	賞典費	1,000	1,000	0	
	非常通信費	20,000	20,000	0	
	諸会費				
雑費	0				
小 計		326,000	265,000	△ 61,000	
次期繰越高		0	△ 145,000	△ 145,000	

注）第3四半期（12月末）までの実績を考慮した上で、令和5年3月末での繰越金の見込金額を記入しております。

# JARL 秋田県支部役員委員

令和5年4月1日現在

No.	役 職	コールサイン	氏 名	備 考
1	顧 問	J A 7 D C Y	石 川 和 男	東北地域毎社員
2	支 部 長	J A 7 S O K	渡 邊 和 弘	支部社員
3	副 支 部 長	J A 7 C X P	大 里 哲 三	監査指導委員
4	会 計	J A 7 K K V	佐 藤 悦 紹	
5	幹 事	J A 7 Q F T	佐 藤 史 則	
6	〃	J A 7 R U M	森 川 由 一	
7	〃	J H 7 Q F P	武 埴 竹千代	災害対策担当
8	〃	J H 7 X G N	古 川 克 巳	コンテスト担当
9	〃	J F 7 U I W	松 橋 密	アワード・ARDF 担当
10	コンテスト	J H 7 O U W	佐々木 敏 範	
11	〃	J I 7 O E D	珍 田 一 人	
12	〃	J L 7 A I A	京 極 真	
13	A R D F	J A 7 J P K	斎 藤 邦 弘	
14	〃	J R 7 F E H	菊 地 幸 彦	
15	〃	J F 7 K P F	佐 藤 稔	
16	〃	J L 7 M G J	渡 邊 義 典	
17	〃	J N 7 A E L	藤 原 浩 樹	
18	〃	J O 7 F B S	佐 藤 洋 介	
19	〃	J O 7 J T L	太 田 研	
20	〃	J O 7 M C V	藤 嶋 康 一	
21	災 害 対 策	J R 7 K I C	松 橋 亘	
22	〃	J K 7 V P L	村 山 久 尚	
23	広 報	J H 7 K T I	石 川 信	
24	〃	J O 7 X O D	小 野 淳 一	
25	監査指導委員長	J H 7 S H G	御所野 正 義	
26	監査指導委員	J A 7 Z L	上 野 清	
27	〃	J A 7 C X P	大 里 哲 三	
28	〃	J A 7 K K V	佐 藤 悦 紹	
29	〃	J A 7 L D H	袴 田 祐 一	
30	〃	J F 7 U I W	松 橋 密	
31	〃	J H 7 I O E	石 岡 悟	
32	〃	J H 7 Q F P	武 埴 竹千代	
33	〃	J R 7 K I C	松 橋 亘	
34	〃	J O 7 M C V	藤 嶋 康 一	
35	〃	J A 7 D C Y	石 川 和 男	



## 秋田県支部登録クラブ

令和5年5月1日から令和7年4月30日まで

クラブ局	クラブ名	登録番号
	秋田アマチュア無線クラブ	04-1-0001
JA7ZGC	能代アマチュア無線クラブ	04-1-0012
	大湯アマチュア無線クラブ	04-1-0013
JA7YWY	雄和アマチュア無線クラブ	04-1-0014
JA7YBL	秋田県立横手清陵学院高校 無線部	04-2-0014
JH7ZGK	秋田市役所アマチュア無線クラブ	04-3-0007
	秋田DXアソシエーション	04-4-0004
JH7YJF	コミュニケーションHAMクラブ	04-4-0012
JE7YAI	本荘ハイソサエティーアマチュア無線クラブ	04-4-0018
	秋田県アマチュア無線アクティビティ協会	04-4-0019
JE7YNM	千秋アマチュア無線倶楽部	04-4-0026
JA7YPW	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	04-4-0028

## 秋田県支部監査指導委員

令和5年4月1日現在

	役職	コールサイン	氏名	担当業務	備考
1	委員長	JH7SHG	御所野 正義	D,G	
2	委員	JA7ZL	上野 清	E,G	
3	委員	JA7CXP	大里 哲三	B1,B3	
4	委員	JA7KKV	佐藤 悦紹	E,G	
5	委員	JA7LDH	袴田 祐一	B3,B4,D	
6	委員	JF7UIW	松橋 密	E,G	
7	委員	JH7IOE	石岡 悟	B3,B4,B5	
8	委員	JH7QFP	武埴 竹千代	E,G	
9	委員	JR7KIC	松橋 亘	E,G	
10	委員	JA7DCY	石川 和男	E,G	
11	委員	JO7MCV	藤嶋 康一	E,G	

A：電波障害 C：侵入電波 D：監査指導・実地調査 E：ガイダンス局  
 B：モニター局（B1=HF B2=50MHz B3=144MHz B4=430MHz B5=1200MHz）  
 G：支部幹事兼任



# 第 37 回オール秋田コンテスト

※結果冊子送付を廃止しました。

コンテスト担当 珍田 JI7OED

**日 時** 9月9日(土) 21:00～23:00,  
9月10日(日) 06:00～12:00

**参加資格** 国内のアマチュア局・SWL

**部門・種目・コード(別表)** ○以下を除く2種目へのエントリー可

- ①同一種目名称の2部門の組み合わせ
  - ②マルチバンドとマルチバンドの2種目で、双方に同一バンドが含まれる組み合わせ
  - ③1バンドのみでのマルチバンドと、そのバンドと同一のシングルバンドの組み合わせ
- MOPは2人以上のOPによる運用であること(アシストがあった場合はMOP)  
○QRPは出力5W以下 ○ジュニアは開催日満18歳以下  
※各バンドの使用周波数はJARLコンテスト規約・総務省公示による

**呼 出** ○電信 県内局「CQ AT TEST」 県外局「CQ ATG TEST」○電話「CQ オール秋田コンテスト」  
※県内局は自局の呼出符号送出時に「秋田県内局」を送出

**交信相手局** ○県内局：県内を含む全国の局 ○県外局：秋田県内の局

**コンテストナンバー** ○県内局：RS(T) + 市町村略号 ○県外局：RS(T) + 都府県・北海道の地域等の番号

**得 点** 完全な交信1点 ※同一バンド同一交信局でもモードが違えば電信電話各々得点計上可,  
同一バンド同一モードでの重複交信は不可

**マルチプレイヤー** ○県内局：秋田県内の異なる市町村, 都府県・北海道の地域 ○県外局：秋田県内の異なる市町村 ※モードが違っていても同一バンドでは1回のみ計上

**総 得 点** (各バンドの得点の和) × (各バンドのマルチの和)

**注意事項** ○SOPマルチバンドはHFと50MHz以上のバンドでの交信を,SOP HFマルチバンドはHF2バンド以上での交信を含むこと ○県内局のみ登録クラブ対抗部門有り(SOPでは得点の高い1種目のみ,クラブで運用するMOP1局も集計) ○上空・海上移動・レピータ使用不可 ○移動は種目毎マルチプレイヤーの変わらない範囲内で認め移動地を,ジュニアは生年月日を,MOP・ゲストOPの場合は運用者(アシスト者含む)の呼出符号・氏名・資格をサマリーに記載 ○8J7等記念局での運用はチェックログとします ○規約に合致しない部分は委員会判断で修正し得点計上する事あり

**提出書類** ○電子ログによる場合:JARL電子ログ要項に準ずる(2種目の場合は2回に分けて送信)か,ワード・エクセルにより読み込み可でJARL形式に準ずるもの ○紙ログによる場合:JARL形式かこれに準じたログ・サマリー(2種目の場合はサマリー2枚)

**締 切** 9月30日(土) 消印有効

**提出・問合せ先** 〒010-0041 秋田市広面字樋口44-64 珍田 一人 E-mail:ji7oed@jarl.com

**失 格** ○書類に明らかな虚偽の記載が認められた場合  
○その他ルール違反があった場合



(別表) 部門・種目・コード

部門	種目	コード	
		秋田県内	県外
電信電話	SOP マルチバンド <sup>※</sup>	ASMC	GSMC
	SOP HF マルチバンド <sup>※</sup>	ASHC	GSHC
	SOP V・U・SHF マルチバンド <sup>※</sup>	ASVC	GSVC
	SOP QRP マルチバンド <sup>※</sup>	ASQC	GSQC
	SOP ジュニアマルチバンド <sup>※</sup>	ASJC	GSJC
	MOP マルチバンド <sup>※</sup>	AMMC	GMMC
	SWL	ASWL	GSWL
	SOP 1.9MHz	AS1.9C	GS1.9C
	SOP 3.5MHz	AS3.5C	GS3.5C
	SOP 7MHz	AS7C	GS7C
	SOP 14MHz	AS14C	GS14C
	SOP 21MHz	AS21C	GS21C
	SOP 28MHz	AS28C	GS28C
	SOP 50MHz	AS50C	GS50C
	SOP 144MHz	AS144C	GS144C
SOP 430MHz	AS430C	GS430C	
SOP1200MHz & up	AS1200C	GS1200C	
電話	SOP マルチバンド <sup>※</sup>	ASMP	GSMP
	SOP HF マルチバンド <sup>※</sup>	ASHP	GSHP
	SOP ジュニアマルチバンド <sup>※</sup>	ASJP	GSJP
	SOP 3.5MHz	AS3.5P	GS3.5P
	SOP 7MHz	AS7P	GS7P
	SOP 14MHz	AS14P	GS14P
	SOP 21MHz	AS21P	GS21P
	SOP 28MHz	AS28P	GS28P

## 【秋田県内市町村略号】

秋田市 AK 能代市 NS 大館市 OD 横手市 YT  
 男鹿市 OG 湯沢市 YZ 鹿角市 KZ 由利本荘市 YH  
 潟上市 KM 大仙市 DS 北秋田市 NA にかほ市 NH  
 仙北市 SB  
 〔雄勝郡〕 羽後町 UG 東成瀬村 HN  
 〔鹿角郡〕 小坂町 KG  
 〔北秋田郡〕 上小阿仁村 KA  
 〔仙北郡〕 美郷町 MS  
 〔南秋田郡〕 井川町 IK 八郎潟町 HR  
 五城目町 GJ 大潟村 OO  
 〔山本郡〕 藤里町 FS 三種町 MT 八峰町 HP  
 (全 25 市町村)



## ～秋田県支部からお知らせ (QSP)～

### ◆電波の日記念運用について

秋田県支部では6月1日「電波の日」を記念しまして、JA7RL/7を6月1日～11日まで本荘ハイソサエティ、雄和クラブ、AAAAによる秋田市、潟上市と由利本荘市から移動運用しました。

交信局数は1,116局になり、特にFT8でのQSOが半数を超えました。

担当されました登録クラブの皆さんご苦労さまでした。

### ◆JARL 第31回 2023 全日本 ARDF 競技大会

日時：2023年10月22日(日)

場所：白石市および蔵王町、国立花山青少年自然の家「南蔵王野営場」

特別記念局運用(8J7ARDF)：8月1日～10月31日、東北6県で運用中

詳細：東北地方本部ホームページ参照

### ◆ARDF 競技大会運営スタッフ募集中

大会運営には審判員、運営スタッフが多く必要です。ご協力いただける方(ボランティア)の募集中です。

ご協力いただける方は支部長 ja7sok@jarl.com までご連絡ください。

### ◆秋田県内での特別記念局 8J7ARDF 運用について

9月1日～15日まで由利本荘市、秋田市などから移動運用します。

聞こえてましたら呼んでみてください。

### ◆令和4年度会員増強企画で表彰される

JARL本部から令和4年度会員増強企画において連盟会員の増強に多大な貢献があったとして秋田県支部が表彰されました。

表彰状と副賞としてスタッフベストをいただきました。支部主催事業やクラブなどの催事にご活用ください。

